

新響第19回定期演奏会

指揮 芥川也寸志

演奏 新交響楽団

1970—4月13日PM7.00開演

日比谷公会堂

リスト・交響詩「前奏曲」

(Liszt "Les Préludes")

ハイドン・交響曲第101番「時計」

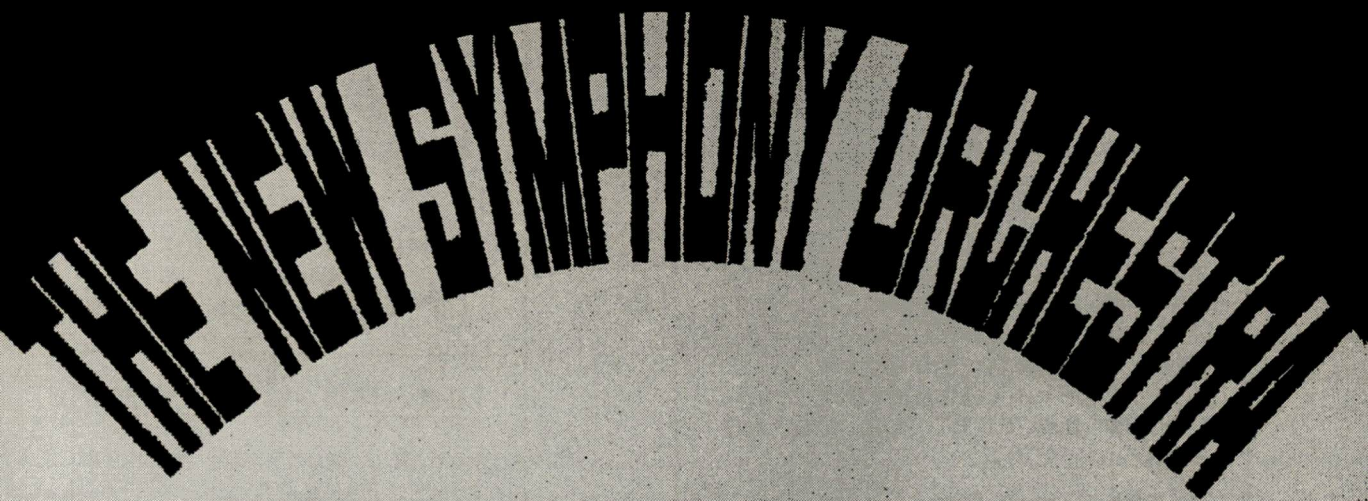
(Haydn Symphony No. 101 "The Clock")

ムソルグスキー＝ラヴェル 組曲「展覧会の絵」

(Mussorgsky=Ravel "Tableau d'un expositon")

A:500円 B:400円 C:200円 S:700(全席指定)

都内各プレイガイドにて前売中・お問合せ・新響事務所・357・5255



新交響楽団は作曲家芥川也寸志氏を常任指揮者とし、サラリーマン、学生、主婦を団員とするアマチュアオーケストラで、合奏を通じて音楽に親しみ、自己の成長に役立てるばかりでなく、他の多くの人達にも演奏を聴いてもらい、また仲間に入ってもらって一緒に合奏を楽しみ、沢山のオーケストラや吹奏楽団ができて、明るい文化的な社会ができるよう活動をしています。

最近では、ソビエトへの演奏旅行、東京交響楽団との合同演奏、九州沖縄芸術祭参加演奏旅行、ラジオ、テレビへの出演等の活動を通じて、演奏の感銘度においてプロにひけを取らない第一級のアマチュアオーケストラとして名を知られています。

アマチュア音楽の魅力とは、一口にいえば可能性の魅力といえましょう。

アマチュアには無限の可能性が秘められている——音楽の実体に迫るための、感銘度の高い演奏が生まれるための、その条件と可能性は、アマチュアの前に無限に与えられている——と私は思っています。

また、アマチュアにはアマチュアらしい、プロには絶対にならない素晴らしさがなければならないと思っています。たとえばどんな優秀なプロオーケストラの前に出ても、決して負けることのない輝くアマチュアリズムがなければなりません。

それは、道楽や自己満足におわらない、スポーツの世界にも通じる鍛え抜かれた末に、はじめて手にすることのできる自信と誇りにうらずけられたものであります。

私たちはこの新響に与えられた可能性を少しでも多く引き出し、その道が決して行きどまりではなく、音楽世界の中心に通じているということの証しをたてたい、それを演奏者全員がたしかに信じあえるステージを少しでもたくさんもちたい——そう考えております。

(音楽監督 芥川也寸志)

新響・登録会員募集中!

- ◇入会金はおりません。
- ◇演奏会の案内を毎回お送りしますのでご希望の時だけお申し込み下さい。
- ◇入場券は1割引といたします。
- ◇プログラムを無料でさしあげます。
- ◇公開リハーサルを行ないます。

申込は 住所(TEL) 氏名、年令、職業明記の上、下記まで。

〒160 新宿区須賀町14 (大湊ビル)

新 交 響 楽 団

TEL (357) 5255 (但し午後のみ)

〈昨年度の演奏曲目〉

C. バッハ	シンフォニア
ヘンデル	オラトリオ「メサイア」
モーツァルト	交響曲 第40番
ベートーベン	ピアノ協奏曲 第1番
"	交響曲 第5番
"	交響曲 第9番
シューベルト	交響曲 第8番
J. シュトラウス	「こもり」序曲
"	「ウィーンの森の物語」
"	「ラデッキー行進曲」
チャイコフスキー	「眠りの森の美女」
"	ヴァイオリン協奏曲
ドボルザーク	交響曲 第9番
ショスタコビッチ	交響曲 第5番
グロフエ	組曲「ミシシッピー」
R. ロジャース	南太平洋
C. ポーター	カンカン
F. レーウェ	マイ・フェア・レディ

〈今年度の活動〉

7月1日	合唱団鯨公演 ハイドン「天地創造」出演 渋谷公会堂
8月20日	サマーコンサート グロフエ「大狭谷」組曲他 東京文化会館
10月29日	第20回定期演奏会 日比谷公会堂
12月下旬	ベートーベン 第九交響曲

新響の団員を募集しています

どなたでも、簡単なテストを受けて団員になることができます。

お気軽に下記へお問合せ下さい。

新交響楽団事務所

(357) 5255